

令和3年度第1回中仙地域協議会会議録

令和3年5月27日

中仙地域協議会

令和3年度第1回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■委嘱状交付	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) (仮称) 道の駅なかせん拠点構想について	3
■報告	7
(1) 令和2年度地域枠予算活用事業について	7
(2) 令和3年度地域枠予算活用事業について	8
(3) 中仙支所各課所管の事務事業等について	8
■その他	10
■閉会	11
■署名	12

■開催日時：令和3年5月27日（木曜日）午後2時

■開催場所：中仙支所2階 第21会議室

■出席委員： 13名

伊藤 悟、遠藤 まき、小松 京子、今野 貴美子、佐川 晃、
高橋 和政、高橋 和美、高橋 強、高橋 朝夫、田口 馨、
傳農 百合子、畠本 きよ、三浦 和則

■欠席委員： 2名

小松 正樹、熊谷 壽男

■出席職員：14名

斎藤 秋彦（中仙支所長兼地域活性化推進室長） 鈴木 真紀子（市民サービス課長）
大阪 文博（農林建設課長） 高橋 千秋（中仙公民館長）
新山 待子（市民サービス課参事） 草薙 琢哉（市民サービス課参事）
藤原 喜文（農林建設課参事） 小田嶋 香代子（農林建設課参事）
高橋 宏範（農林建設課参事） 佐々木 秀子（中仙公民館参事）
鈴木 幹（包括支援センター東部主幹） 武藤 良子（健康増進センター東部副主幹）
長谷川 祐城（地域活性化推進室副主幹） 門脇 友梨華（地域活性化推進室主事）

■次第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 協議
（1）（仮称）道の駅なかせん拠点構想について
- 5 市長講話
- 6 報告
（1）令和2年度地域枠予算活用事業について
（2）令和3年度地域枠予算活用事業について
（3）中仙支所各課所管の事務事業等について
- 7 その他
- 8 閉 会

(午後 2 時 0 0 分 開会)

○事務局 (地域活性化推進室) 開会を宣言

○委嘱状交付

高橋和美委員、畠本きよ委員に支所長より委嘱状が交付されました。

○高橋朝夫中仙地域協議会長 (以下「会長」と表記)

みなさま、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。この度、前支所長の今さんの代わりに来てくださった斎藤支所長は、その前に農林建設課長としてこちらに勤務されて中仙の状況をよくご存じですので、良い方に来ていただけたなと思っております。再任の委員の皆様は見慣れた方が来てくれたなということで、活発な意見が交わされることと期待しているところであります。また、市民サービス課長、農林建設課長、中仙公民館長みな前年度と同じですので、今までの流れもしっかりと分かっておられますので、これから行う協議についてよろしくお願ひしたいと思います。簡単ですが、あいさつといたします。

○斎藤支所長 (以下「支所長」と表記)

本日は、大変お忙しい中令和 3 年度第一回中仙地域協議会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。今年 4 月から中仙支所長を仰せつかっております、斎藤と申します。これからよろしくお願ひいたします。委員の皆様には市民と行政の協働のまちづくりの推進、市の施策に対する提言の取りまとめなど地域の特色を生かした活動を展開していただくこととなります。ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

はじめに新型コロナウイルス関係についてお知らせいたします。大仙市では、今月 9 日から高齢者ワクチン接種が始まりました。ワクチン接種の受付につきましては、4 月 26 日からコールセンターでの開始されましたが、電話が繋がらないという不具合が生じまして、コロナワクチン推進室や健康増進センターだけでなく、中仙支所にも 60 件ほどの苦情が寄せられました。このような状況を踏まえまして、コールセンター回線の増設や、年代ごとの受付日を郵送でお知らせしております。接種会場は、仙北のふれあい文化センター、協和の和ピア、中仙の農村環境改善センターとしており、改善センターでは 12 日から昨日まで 6 回の接種が実施され、受付済みの 3, 324 名中 809 名の接種が行われております。64 歳以下の接種については、8 月 1 日から接種開始を予定し 6 月 18 日から年代別にクーポンが発送され、基礎疾患持ちの方を優先し、インターネットでの届け出など詳細は 6 月 1 日広報でお知らせいたします。今後ますます接種人数が増えていくことが想定されますが、適切に対応してまいりたいと考えております。

次に、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となった中仙地域のイベント、行事等についてお知らせします。なかせん桜まつりは、4 月 29 日にライトアップや花火等のイベントを予定しておりましたが、近隣の桜まつり等の中止を踏まえ中止しております。8 月 16 日開催予定のドンパン祭りは、5 月 25 日に開催された第 2 回ドンパン祭り実行委員

会において、3年連続の中止が決定しました。県内の主なイベント等の状況を踏まえ、開催は難しいとの決議がされております。しかし、3年続けて児童生徒の皆さんの発表の場が無い点を考慮し、第3回実行委員会で協議したいと思います。ジャンボウさぎフェスティバルは、7月開催予定の実行委員会で開催可否が判断される予定となっております。

次に小中学校の統合について、今年度、豊川小学校と豊岡小学校が統合し豊成小学校になり、中仙中学校と豊成中学校が統合しております。4月18日には中仙中学校統合記念式典、5月1日には豊成小学校統合記念式典が執り行われております。1日の式典では開会前に地震があり、児童に動揺がみられたことから5分程度遅れて開会しました。また、この地震による管内の被害はありませんでした。

例年開催されております自治会連合会地区分会については、緊急事態宣言、蔓延防止等重点施策、他の会議等の開催状況を踏まえ、昨年度に引き続き今年度も中止とし、書面によりご意見、ご要望をお伺いすることとしております。また、新たな取り組みとして、自治会連合会と地域の市議会議員による、自治会から寄せられた地域課題を議題とした情報交換会の開催を予定しております。

本日は、新型コロナウイルス感染防止対策として最小限の議題とさせていただいておりますので、会議時間の短縮にご協力をお願いいたしまして、あいさつに代えさせていただきます。本日はどうかよろしくをお願いいたします。

○職員紹介

支所長より出席職員が紹介されました。

○会長　それでは次第3の「会議録署名委員の指名」に入ります。中仙地域協議会運営規程第7条第2項により、議長が指名することとなっております。今回は高橋強委員、畠本きよ委員をお願いいたします。

それでは次第6「協議」に入ります。「(1)(仮称)道の駅なかせん拠点構想について」を議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明

○会長　ありがとうございました。昨年度から、道の駅なかせんを活用した地域の魅力発信とあわせて道の駅をより良くしようという意見がでておりましたが、3月の協議会での活発な審議を市長にも見ていただき、進めるようにとのことですので、予算どの面でも進めやすくなるのではないかと思います。委員の皆様には、資料1-2のアンケートの設問内容についてもいろいろご意見いただければと思います。何かございませんか。

○支所長　経緯等について補足させていただきます。市長からは、現在整備中の大曲駅に

続き、市内に3つある道の駅の整備を進める意向を確認しており、協和は防災道の駅、中仙、神岡は東部、西部の拠点として構想を進めるようにと言われております。拠点整備の方向性を確認するため、本庁へ市長から直接指示いただく場を設けるよう働きかけしたものです。道の駅なかせんは、大曲、西仙北、南外に囲まれた神岡に比べ、隣が仙北市なので外部からの誘客がしやすいと思われれます。中仙では、昨年度から地域協議会におかれましても協議を進めていただいております、5月14日は二人の副市長も参席されましたが、観光振興課が所管課となり支所と連携しながら、外部から人を呼び込む施設となるよう整備構想を進めるようにとの話がされました。

現在、県の振興局とも、課題のある駐車場の機能的な改修について協議及び現地確認を行うなど進めております。また、道の駅を管理する物産中仙と、支所地域活性化推進室、市民サービス課でチームを作り、構想の策定を進めていこうとしております。

「こめこめプラザ」という名称については、公募で決定した米どころということで「米米」、来てほしい「come come」というものですが、平成8年から25年が経過していることもあり、地域では愛着もあるものと思われるが、市長、副市長からは改称も検討してみてもと言われております。また、モニュメントと円満造翁人形については、モニュメントの経年劣化が危ぶまれており、そうした地域の思い入れの深い部分についても理解を得ながら進めていかなければならないと考えているところです。

○会長　　ただいま、支所長からもいろいろとご説明がありました。聞きながら思いましたが、昨年度の協議の際、駐車場の使い勝手や案内表示の充実など様々な意見が出ていたのですが、市長が前向きであるということは財源的な部分も期待できるということだと思いますので、委員の皆さんにはますます活発な意見をお願いしたいと思っております。

○高橋強委員　　駐車場について、大型車、普通車用と分けているが、普通車用側にはまだ空きスペースがあるので、駐車場の拡幅に活用できるのではないかと。また、県内の他の道の駅、沿岸側の方の道の駅などをみると、外にテントを立てて道路から見たときも「何かやっているな」と思わせるような雰囲気づくりをしているように思うので、アピールに力を入れて呼び込んではどうかと思う。

○会長　　今の高橋強委員の意見は、資料1-2の内容にも絡んでくることと思っております。どんどん意見をお願いします。

○小松京子委員　　最近感じる事として、野菜コーナーに物が無く、お客さんが道の駅に入ってきて、見て無いと思うとすぐに帰ってしまう状況。道の駅に来る方の半分くらいは野菜を買いに来ていると思う。地震も生産者の一人であり、会員が協力して搬入しなければいけないと思うが、どうしたものかと悩んでいる。

○遠藤まき委員　　野菜を出品するには、満たさなければいけない規格などはあるのか。

○小松京子委員 農協出荷などの場合は規格があるが、道の駅の場合は自由で、外見的にそれほど見苦しいものでなければ自分の判断で値段も設定して出品できる。

○遠藤まき委員 先ほど高橋強委員がテントの設置について話されたが、道の駅なかせんでもトマト関係のテント販売をしているが、テントでの販売は大変効果が高いと思われるので、せめて土日だけでも野菜の規格外品などを売ってはどうか。規格を満たす野菜は他店舗でも買えるが、新鮮で美味しくて安いものがほしい方が道の駅に集まっていると思う。しゅしゅえっとまるしゅでは最初の頃に規格外品は扱わないと聞いたことがあるが。高橋強委員の言われたテントでの販売は大賛成。

○小松京子委員 しゅしゅえっとまるしゅも、規格はあるようで特に無い。専門の農家や季節の山菜採りの方など、いろんな方が出品しておりそれほど堅い感じではない。新鮮で他よりも安く、周りとの調和を図りながらやっている。

○会長 野菜に関連した話が出ていますが、資料のアンケート修正案の方に戻りまして、そうしたことも含めて修正案をどのようにしたらよいでしょうか。

○高橋和政委員 問4の7の「車中泊駐車場の運営」は必要か。大胆すぎないか。

○事務局（地域活性化推進室） 本庁の観光振興課職員からの提案を受けて設定したもののだが、車中泊駐車場はRVパークと呼ばれ、全国的な協会も存在しており、道の駅なかせんの駐車場では既に車中泊されている旅行者もいらっしゃるということもあり、設けさせていただいたものです。

○支所長 RVパークには電源が設けられていたり、多くは道の駅に隣接して設けられている。

○会長 中仙もそうかもしれないが、協和にも結構な台数のキャンピングカーが来て泊まっているのを見かけますが。有料なら何らかのメリットを付与することになると思いますけれども。他になにかございませんか。

○三浦和則委員 選択肢が増えたせいか質問が分かりにくい。既存のものの改善と新規のものが混ざっており、ハードとソフトも混ざっている。分けた方が良いのではないか。

○高橋強委員 いろいろと意見が出たが、道の駅なかせんの限られたスペースを考えると、どう考えても限界があると思う。あまり大きなことを言っても予算がかかりすぎるので、現状のものを工夫して集客を図るのが現実的ではないかと思う。選択肢にある子供の遊び

場、遊具の設置や、意見の出ている野菜売り場、レストラン、駐車場のことなど、具体性に欠けており幅広く考えすぎで、これではいくら協議を足らない。道の駅の利用者には、大人ばかりではなく幼児や子供もいる。あまり大きなことをするのではなく、現在あるものを活かして、家族連れがちょっと立ち寄ってみようと思うような、子供たちにも魅力のある道の駅を考えた方が良いのではないかなと思う。

○会長　　そうすれば、選択肢の中でこれは無くしてもよい、これはあった方がよいというような意見があればお願いします。

○田口馨委員　　集客を増やすということであれば、美郷町の道の駅がリニューアルし駐車場も広くなり、モンベルを誘致し多用化を図り、店内もレイアウトを変えて、それなりに予算をかけて改修した。アンケートを取って現状を確認する必要があるということはみんな同じ意見と思うが、やはり予算をかけなければ良いものはできない。リピーターを増やせなければ希望は無い。道の駅なかせんはもともと広げるスペースが無いので、限られたスペースでいかにして改善していくかということ。駐車場が使いづらく、大型車用スペースが大きくとられており、普通車用スペースからは建物が遠いし、ロータリーを回って国道に出る動線を何とかしなければならぬ。緑地帯を無くせば相当なスペースができる。建物は完全なミス。黒川紀章がデザインした高床式の建物だが、雪がたまる屋根は致命的。建物にも入りづらい。駐車場も建物も入りやすくし、リピーターを生むまた来なくなる道の駅にしないといけない。支所長が言われた円満造翁の人形は、今となっては不要だと思う。国道から見て入ってみようと思わせることが一番、そして建物に入って満足してもらえるよう売り場の工夫が必要。予算をどの程度つけてもらえるかが重要。

○支所長　　振興局との現地確認の際に、ロータリー部分について協議した。一番良いのは、象潟の道の駅のように入口と出口を別に設けることだが、橋に近い場所への出入口の設置は警察の許可がおりないようです。また、国道へ出る部分には滞留スペースを確保する必要があるとのこと。緑地帯については、半分くらい削って駐車スペースを増やし、普通車用のスペースも設けられないかを検討しているところです。

○高橋強委員　　道の駅脇の旧辰美の敷地を取得できないか。

○支所長　　以前から検討しているが、事情があって取得に至っていない。今後も検討していきたいと考えています。

三浦委員からご指摘のあった設問の分かりづらさについては、こちらで整理させていただきたいと思います。

田口委員から予算のことについてご意見がありましたが、今回のアンケートで市民の皆様からのご意見を収集し、それを基に構想策定や予算要求へ結び付けていきたいと思いません。

○**会長**　　すぐに実施できることはしていきながら、予算のかかる大きい計画は時間をかけて準備していくことで、今はいろんな意見が出てよいと思います。設問の選択肢の整理については事務局をお願いしたいと思います。

○**事務局（地域活性化推進室）**　　今回いただいたご意見を踏まえ、整理したものを資料として委員の皆様へ送付させていただき、書面でご意見をいただく形で進めさせていただきたいと思います。ご意見にあった、外に TENT を立てて「何かやってるな」と思わせることについては、「TENT 市の開催」という新たな選択肢を設けることでよろしいでしょうか。

○**佐川晃委員**　　あまり細かく選択肢を設けようとしてもキリが無い。今回のアンケートに細かいところまですべて盛り込む必要は無いと思う。アンケートの趣旨は、道の駅なかせんをより良い施設とするための意見収集であるとはっきりしているし、得られた結果を基に今後詰めていった先に細かいことを検討していくということによいのではないか。

○**田口馨委員**　　男鹿のオガレは、海の近くなので新鮮な海産物があると思って行ったが、それほどでもなかったと聞いた。

間に合わせ的な整備か、将来的な先を見越したものとするかにもよるが、地域協議会委員からの意見だけでは限界があるため、専門家からのアドバイスを受けることも検討してはどうか。

○**支所長**　　いずれはコンサル等への委託も必要と思われるが、もう少し先のことと思う。

○**会長**　　今回のアンケートは、方向性を限定せずにどうゆうニーズがあるかを市民にお聞きするものですので、選択肢を整理したうえで実施し、集計したものを基に計画の策定や予算要求に活用していくものとして進めることでよろしいでしょうか。

（異議なし）

このことについて、他に意見、質問等ございませんか。

（なし）

なければ、以上で「（1）道の駅に関するアンケート調査について」の協議を終わります。

続きまして次第7「報告」に入りたいと思います。「（1）令和2年度地域枠予算活用事業について」、事務局から説明をお願いします。

○**事務局（地域活性化推進室）**

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま事務局から説明ありました。これに関して質問、意見などございますか。

○遠藤まき委員 芸文中仙はどこで見られるか。いただくことはできるのか。

○高橋中仙公民館長（以下「中仙公民館長」と表記）

関係団体には配布しています。一般の方には公民館に来ていただければ、600円の協力をいただいて配布させていただいています。

○会長 ほかにございませんか。

（なし）

ないようですので次の報告に移ります。

それでは「（2）令和3年度地域予算活用事業について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま事務局から説明ありました。これに関して質問、意見などございますか。

（なし）

ないようですので次の報告に移ります。

それでは「（3）中仙支所各課所管の事務事業等について」、担当各課から説明をお願いします。

○支所長

鈴木市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

大阪農林建設課課長（以下「農林建設課長」と表記）

中仙公民館長

武藤健康増進センター東部副主幹（以下「健康増進センター東部副主幹」と表記）

鈴木高齢者包括支援センター東部主幹（以下「高齢者包括支援センター東部主幹」と表記）

資料に基づき説明

○会長 ありがとうございます。ただいま各課から説明がありました。これについて質問、意見ございましたらお願いします。

○小松京子委員 健康づくり推進事業の食生活改善推進員養成講座について、昨年度は中止になったが今年度は開催されるのか。

○健康増進センター東部副主幹　今のところは開催予定となっています。どうしても調理実習など飲食を伴う講座が多くなるため、昨年度は中止させていただきました。今年度は、そうした面を改善して開催する方向で調整しています。

○田口馨委員　建設関係の野田柏木田線の舗装打換工事とあるが、どこの路線か。

○農林建設課長　豊成小学校手前の東西に延びている道路です。

○高橋強委員　市道は路線名ではなかなかわからないので、図面を添付してほしい。

○農林建設課長　次回から添付するようにします。

○佐川晃委員　本協議会の協議案件の議題にもなっている地域活性化推進室の道の駅拠点構想について、道の駅の駅長がいた方が良いのではないかと。

○支所長　拠点構想検討チームには入っていただいています。

○佐川晃委員　例えば十文字だと、町長をやられていた方が駅長を務められていてどんどんやっている。道の駅を地域の拠点にしようと協議しているときに、リーダー的な存在として駅長もよいのではないかと思った。

○支所長　中仙の場合は、指定管理者の物産中仙の社員が駅長というポストになっている。

○佐川晃委員　駅長としてどんな役割をされているのか。せつかくのこの事業で、いろいろな意見や細かい部分、具体的なことを協議しやすいのではないかと。

○高橋強委員　以前は委員になっていたが。

○事務局（地域活性化推進室）　駅長は、物産中仙から学識経験者として委員になっていただいていたが、第3、4期の2期を務められたので原則に従い代わりの方を推薦していただくよう依頼したものの、推薦をいただけなかったことから現在の状況となっています。

○高橋強委員　道の駅には市から出向している職員がいるが、代わりに来ていただけないのか。

○支所長　拠点構想は協議会でご審議いただく中のひとつであり、検討チームとして物産中仙にも入っていただきながら、地域協議会に報告や協議をしていただく形で進めていき

たいと考えている。必要であれば協議会へ呼び出すこともできる。

○遠藤まき委員 道の駅のことは、物産中仙の誰かが先に立って指示しているのか。駅長というのほどのような役割なのか。

○高橋強委員 全体の統括が駅長ではないのか。

○支所長 総括というわけではない。「道の駅」という施設の「駅長」という立場のようなもの。

○遠藤まき委員 先ほど十文字の道の駅の話が出たが、十文字は野菜の回転がすごく良いと報道されていたのを見たとき、担当者がすぐに農家に連絡して補充するとのことで、駅長は経営を担ってやっていると言っていた。

○会長 指定管理ではなく完全な外部委託管理で運営を任されている業態なのではないか。

○支所長 中仙は指定管理なので、物産中仙の中で役割を決めていることですが、それぞれの道の駅でそれぞれ違ったやり方をしていることだと思います。

○小松京子委員 道の駅によって違うとはいえ利用者は同じように見ており、他の道の駅でテントを設置してたくさんのお客さんがいたことを駅長に伝えても、そこまで無理をする必要は無いと言われてしまったことがある。道の駅には賑わいがなければいけないと思う。

○会長 ほかにございますか。

(なし)

ないようですので、次第7を終わらせていただきます。

次に次第8「その他」に移ります。支所各課、委員の皆さん、なにかございますでしょうか。

○高橋強委員 新型コロナ、地震、水害等への今年度の対応はどのようになっていくか。

○支所長 想定されているものについてはもちろん予算を確保していますが、緊急的なものについても予備費などで予算が無くてもしっかり対応していきます。コロナ禍における避難場所についても担当課で計画しています。ライフラインなど生活基盤を第一に、農業や商工面への対応も、これまでの様々な災害経験の蓄積を活用して対応していきます。

○高橋強委員 携帯はガラケーがなくなりスマホに代わってきているが、緊急連絡網も固定電話ではなく携帯になってきている。充電設備の整備や、連絡を取るためのシステム導入などの対策に関する情報はるか。

○市民サービス課長 市民サービス課予算に防災関係予算が記載されていないためご質問がされたものと思いますが、防災関係の予算はすべて本庁予算となっています。電源については、長野側では支所に自家発電がありますが豊岡側に無いということで、充電しておくことで扇風機であれば17時間稼働、携帯であれば320台充電できるといったものを導入している。コロナ対応としては、段ボールのしきりやベッドなどが配備されるなど、順次準備を進めています。

○高橋和政委員 ドンパン祭りは中止とのことだが、大曲の花火はどうか。

○支所長 花火については6月の実行委員会で決定するとのこと。竿灯まつりも中止となっており、ドンパン祭りも実行委員会の決定で中止となりました。しかしながら、子供たちの発表の場が4年間作れないということなので、何かをやりたいと考えている。

○高橋和政委員 最近熊の出没が増えているようだが情報はるか。四ツ屋に出たとの情報があった。

○農林建設課長 八乙女公園で熊が出没したため、現在公園内への立ち入りを禁止しています。先週いっぱい朝夕と職員が確認し、爆竹を鳴らして追い出しを図っています。木に登っている熊を見たということで、大きさは1m程度とのこと。

○会長 ほかにございませんか。

(なし)

ないようですので、次第8を終わらせていただきます。

以上で、本日の地域協議会で予定されておりました案件等の審議は終了となります。本日は、長時間にわたりご審議ご協力いただきましたが、これをもちまして令和3年度の第1回地域協議会を終了したいと思います。

ありがとうございました。

皆様お疲れさまでした。

(午後 4 時 2 0 分 閉会)

中仙地域協議会運営規程第 7 条第 2 項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
